

例への  
自治基本条例メモ

第12話

お問い合わせ  
政策調整課(米原庁舎)  
☎52-6626 ④52-5195

「ご意見バンク」では、みんなの意見や市の考え方を公表するんだって。チェックしないからね。



私は、自分が伝えたいことを届けることも大切だけど、みんながどんな意見を持っているのか知りたいって感じたわ。



ちょっと難しいけど、だいたいわかったよ。



やあ、みんな。「ご意見バンク」のことはわかってくれたかな。



ホタルン！  
前回の宿題だった「ほかたちの意見を伝える方法」が、今回の広報で掲載されているね。  
私も読んだわ。  
そっだね！



出前トークの申し込みも待ってるよ。



ぼくも市長に手紙を出してみようかな！



まちの将来のためにも、私たちもみんな意見を伝えていきたいわね。



④

③

ところで市長さん、意見ってどんなことでもいいの？  
例えば、今の市の計画はこうした方がいいんじゃないかとかな、こんなことを始めたらどうかというアイデア。それに、市役所での手続きの方法や職員の対応が良くなるような意見とか、色んなことが考えられるね。  
どの意見も大切にして、「ご意見バンク」にためていて、まちを良くするために活かしていきたいんだ。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

ひまわり

- 会 員 4人
- 活動場所・連絡先  
近江公民館 ☎52-3483 / ④52-3895
- グループからのメッセージ  
手芸が好きな方は、ぜひご参加ください。  
上手下手、年齢は問いません。



「ひまわり」のみなさんは、MOSスポーツクラブの「まいばら元気塾」で一緒だったメンバーが趣味の手芸をきっかけに意気投合し、昨年の6月に活動を始められました。そして、退職後をいきいきと暮らしたいと考えるみなさんの交流スペース「夢職の会」が、近江公民館にオープンしたことを広報で知り、ここを活用して月に1~2回集まって活動されています。

これまで手がけてこられたのは、単衣や浴のミニ着物、針箱、洋服、帽子、くす玉など6つの作品。講師の井上さんをお手本に、それぞれの好みの生地や小物を使っているの、同じ作品でも雰囲気違ってその人らしさが伝わります。次に何を作るかは、本をもち寄りしてみんなで決めているそうです。また、作品はメンバーが自分のペースでひとつひとつ丁寧に作っておられますが、和気あいあいとした雰囲気で時にはおしゃべりで手がとまったりすることも。

これまの作品は自宅に飾ったりしているようですが、みんなの作品の展示会をするのが今後の夢だと話されていました。



お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) ☎52-6626 ④52-5195 掲載希望はこちらまで